

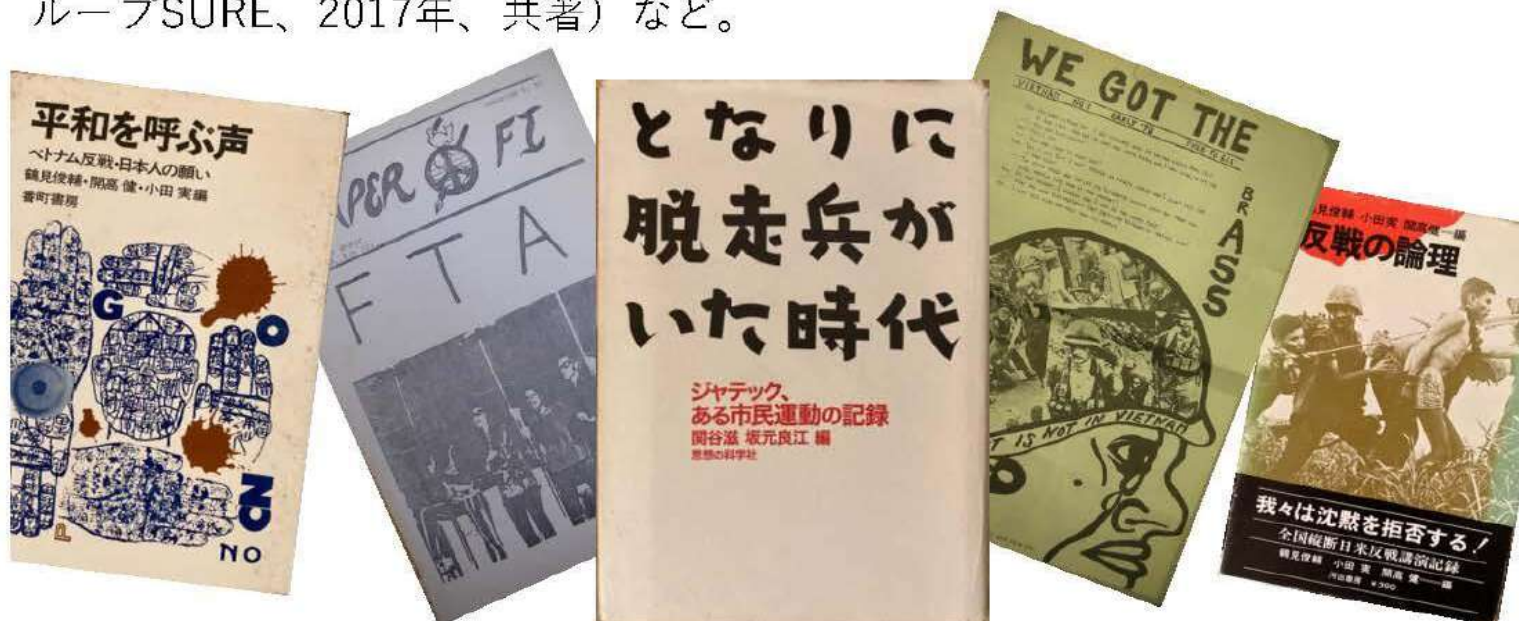
人間文化セミナー

戦争を止める人びと

「ベトナムに平和を！市民連合」の経験から

講師：関谷滋さん

元ベ平連（ベトナムに平和を！市民連合）JATEC（反戦脱走米兵援助日本技術委員会）活動家。主な著作として『可能性としてのベ平連 地域の運動経験と未完の記憶』（ミネルヴァ書房、2025年、共著）、『となりに脱走兵がいた時代 ジャテック、ある市民運動の記録』（思想の科学社、1998年、共編）、『鶴見俊輔さんの仕事④ 雑誌「朝鮮人」と、その周辺』（編集グループSURE、2017年、共著）など。



2026年2月2日（月）13：10～14：40

会場：滋賀県立大学 A2-202

主催：滋賀県立大学人間文化学部

問合せ先：人間関係学科 大野光明研究室 ono.m@shc.usp.ac.jp

事前申込不要・参加無料

1964年、アメリカはベトナムへの軍事介入を本格化させ、ベトナム戦争は約10年にわたって続きました。これに対して、アメリカ国内だけでなく、日本を含む世界各地で、さまざまな反戦運動が広がり、戦争終結に大きな影響を与えました。日本のベトナム反戦運動を牽引したのがベ平連（ベトナムに平和を！市民連合）です。本セミナーではベ平連の当事者であった関谷滋さんをお招きし、日本で人びとがどのように戦争に反対したのかをお話いただきます。人と人とのつながり、コミュニケーション、そして日常的な実践のもつ小さくとも大きな力について考えたいと思います。